

昭和女子大学文化史学会役員

会長 菊池誠一

運営委員・紀要編集委員

菊池誠一 田畑久夫 木下 亮

大谷津早苗 小野寺拓也

会計委員 大谷津早苗 田畑久夫

編集後記

今冬は例年に豪雪で、鉄道・国道をはじめ各地で大きな被害が続出している。これも、近年世界で見られる異常気象と大いに関係するのであるうか。

今号は特に多くの玉論が投稿された。査読した結果、いずれも掲載可能であると判定された。まず掲載することに決まった会員に対して感謝の意を表したい。とりわけ今回は投稿数も多く、論文の専門分野も多岐にわたっている。多くの専門分野の会員がいるということは本誌の特色とでもいえるもので、次号も種々の専門分野からの投稿を切に期待している。

なお、本年3月31日をもって、本会員の先生方が5名御定年により退職されることになった。先生方の今後の御活躍を御祈り申しあげる。有力会員の御退職など、本誌も大きな転換期に差し向っていると思われるが、従来からの良き伝統を継承していきたいと考えて

いる。今以上の会員諸氏の御協力・支援を御願います。

(H・T記)

執筆者紹介(掲載順)

山本 暉久 昭和女子大学教授

田畑 久夫 昭和女子大学教授

鶴岡 明美 昭和女子大学教授

遠藤 由紀子 昭和女子大学非常勤講師

大谷津 早苗 昭和女子大学教授

林 美禰子 相模人形芝居下中座座長

小泉 玲子 昭和女子大学教授

五関 美里 昭和女子大学生生活機構学専攻一年